

# 豊庄だより



第 692 号 2021 年 12 月 27 日

福岡市における新型コロナウイルスの感染者は一桁の日が続いています。今後どうなっていくかはわかりませんが、このまま収束へと向かっていくことを願いたいものです。今年は昨年を引き続き、この未知のウィルスに

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



12 月 10 日

翻弄された一年でした。保育園行事も様々な制限をして行わなければなりませんでしたが、そうした中でも取り組む子どもたちは少しずつ成長していくのを感じました。

そのことを感じた一コマです。生活発表会が終わった次の週のことでした。「発表会、がんばったねえ」と声を掛けますと、「ハイ！」と力強い返事が返ってきました。はっきりとした言葉に驚きました。ステージで演技きった自信がそうさせているのかなと思いました。

さて、今年最後の 12 月誕生会、8 人の誕生者をみんなでお祝いしました。私も今年の「漢字一字」に挑戦しました。「密」を書きました。久しぶりの毛筆で……。やはり、みんなの

前で書くからには、もっと練習をしておかなければいけませんね。2 部に分けての誕生会でしたが、そのことが幸いしたのか、2 回目で書いた時は筆の動きも少しだけですが、スムーズに運ぶことができました。ここでその作品をお見せしたいところですが、もう少し修行をしてからにしましょう。

今回の誕生会の先生たちの出し物は、クリスマスにちなんで、サンタさんでした。子どもたちの歌声に誘われてでしょうか、12 月 10 日に続き、あわてんぼうのサンタクロースがやってきました。でも、このサンタクロース、ステージの幕が開くと、なんとステージの上に敷かれた布団の上でグーグーと寝ていました。みんなの声でようやく目を覚まし、サンタさんの服を着たのですが、着る服をまちがってばかり。ようやく準備が整い、袋に一杯プレゼントを詰めて空に飛び立っていきました。子どもたちは2回もサンタさんに会うことができとても喜んでいました。

この時期になると街中はクリスマスソングが流れ、クリスマス一色になっていきます。ここで「ある夜の物語 クリスマス・イブ」というとても短い短いお話（「ショートショート」と言われています）を紹介します。星新一さんの『未来いそっぷ』（新潮文庫）に入っています。サンタクロースがクリスマス・イブの日、一人暮らしの貧しいある青年のところを訪ねます。サンタに望みを聞かれ、恋人、きれいな住居、会社での昇進など、いろいろと浮かんでは消えます。迷っているうちに心の中で変化が起き、「この少し先に、病気で寝たきりの少女がいます。僕から回されたことは黙って、その子のところに行ってください」と伝えます。サンタは女の子のところに行きますが、青年と同様に迷った末、別の人を紹介し、その人はまた別の人を……。と物語は進みます。「なぜ私のところに？」と、みんなそう思います。サンタは、「心配している人がいる」とだけ明かします。一人ぼっちでないことを知ることが最高の贈り物であることを、この物語は伝えています。それでは、よいお年をお迎えください。



12 月 17 日